

鳴海周平の

ぶらり旅

台湾編

台湾の地理的な中心地にあたる街・埔里^{ぷり}。近くには、原住民の聖地としても知られ、陰陽のひな形でもある日月潭^{にちげつたん}があります。

2014年11月11日^{おひな}に行った「地球新生をお祝いする祈り」から4年。「平成」という元号が最後となる節目の2018年11月11日に、再びこの祈りを捧げたいと思い立ちました。



なるみんと行く! 台湾・日月潭 ヒーリングツアーのご案内

私、鳴海周平が2007年から毎年通い続けている台湾の日月潭。
「日」と「月」という名が示すとおり、「陰と陽のひな形」の地であり、古来から台湾原住民の聖地として、とてもたいせつにされてきた場所です。

これまで、ごく限られた友人・知人とのみ訪れていたこの地へ、今年にご縁ある皆様と11月11日という節目の日にご一緒したいと思います。



■ 日 時 2018年11月10日(土)～14日(水) 4泊5日

11月10日(土)	12:40羽田空港発。台北で夕食後、夜市へ。	台北:泊
11日(日)	台北市内観光後、新幹線で台中経由、日月潭へ。	日月潭:泊
12日(月)	日月潭観光。台湾の地理中心地・埔里へ。	埔里:泊
13日(火)	朝市見学後、台北へ。故宮博物院、101など観光。	台北:泊
14日(水)	台北市内観光後、空港へ。17:30羽田空港着予定。	

■ 集合・解散場所 羽田空港国際線ターミナル

■ 参加費 208,000円 + 燃油・空港諸税別途

朝食3回 昼食3回 夕食4回 付き

一人部屋追加代金(4泊) 55,000円

日本国内線乗り継ぎ追加 片道10,000円(空席がある場合に限り)

台北の観光名所や朝市、夜市、グルメも満喫できる盛りだくさんのツアー。

1年でもっとも過ごしやすい季節の台湾を、ご一緒に楽しみましょう!!

※ 少人数限定のツアーですので、お申し込み時点で既に満員の際はご承知ください。

お問合せ・お申込みは 0120-8739-85 エヌ・ピュアまでお気軽にどうぞ。



どこから観ても素晴らしい眺めの日月潭。湖畔にもたくさんのお寺が点在しています。



台湾における地理上の中心地・埔里。地母廟では日の神、月の神、宇宙の神をお祀りしています。

埔里には、地母廟と呼ばれる台湾道教の総本山的な地位を占めている御宮もあります。正式名称「寶湖宮天地堂」。その名のとおり、天と地、湖の統合を象徴するところです。

旭恵社長・頼さんからの説明を聞きながら、この街に入ってからずつと感じていた「両手がビリビリする感覚」の理由がわかりました。以前、ヒーリングに携わっていた頃によく感じていた、大きなエネルギーと交流している時と同じ感覚。目にみえない世界に携わる人たちが、こぞこの街を拠点にしていたことにも納得がいきます。

台湾の埔里という街を初めて訪れたのは2007年の春。弊社エヌ・ピュアとは兄弟会社のような現地法人・旭恵を設立したご縁がきっかけでした。「ここは不思議な街なんです。台湾には様々な宗教がありますが、その多くが、なぜかこの街に本拠地を置いています。近くには、古来から原住民が聖地として崇めてきた湖・日月潭もあって、この辺り一帯が、大きなパワースポットになっているんです」

「なるみんと行く! 台湾・日月潭ヒーリングツアー」につきましては次ページのご案内をご覧ください。

太陽と月、そして白い鹿の伝説。台湾の聖地は、日本の宗教文化とも深いつながりがあるようです。関羽様を祀る文武廟や、『西遊記』でも知られる三蔵法師の遺骨を祀る玄奘寺、龍と鳳凰の統合・融合・調和を象徴する龍鳳宮など、湖畔に点在する名所もまた意味深い場所ばかり。2018年11月11日は、そんな台湾・日月潭で、ご縁ある皆様とご一緒できましたら幸いです。

この御宮を初めて訪れた時のとても懐かしい感覚は、ご縁が深い場所を感じる特有のもの。特にこの御宮の存在は、まるで「よつ、久しぶり!!」と、肩を叩いているかのように、とても氣さくでフレンドリーでした。今でも訪れる度にハイタッチの感覚です(笑)「地母廟と日月潭はエネルギー的にもつながっています。日月潭は、東側が太陽、西側が月の形をしていることから、その名がついたと言われている。その昔、原住民のサオ族が一頭の白鹿に導かれて発見したそうです」



台湾名物の夜市。グルメはもちろん、買い物や散策も楽しさ満点!!



湖畔には三蔵法師が眠る玄奘寺もあります。



関羽様を祀る湖畔の文武廟から望む日月潭。